

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
 埼玉県川越市上寺山 216-1
 〒350-0826 Tel.049(227)5588
 星野学園小学校
 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

新学期始まりました

始業式

待ちに待った四月九日(月)。新クラス発表があった。学校の正門前に用意された新クラスの掲示の前は、大勢の児童で溢れかえっていた。

新クラスの仲間や担任を知り、児童からは歓声が上がった。新学年、新クラスとなり、昨年度までとは異なる下駄箱等に少し慣れない中も、久しぶりに再会した友達と一緒に、胸をはずませて新しい教室へと、むか



新クラス発表にわくわくドキドキ!

新クラスでの朝の会、大掃除を終え、新学期スタートの合図となる始業式の時が迫り、それぞれのクラスが体育館へ向かった。席に着き、これからの日々のこととを考え緊張しているのか、表情が固い児童もいた

った。新年度初日に見られる、児童の高揚感が今年度も変わらずに見られた。

新クラスの教室へ入り、これから一年間を一緒に過ごす仲間と顔を合わせた。高学年にもなるのか、いつもと変わらない笑顔であった。二年生は初めてなので、緊張した面持ちの児童が多いように見えた。それでも、大好きな友達と顔を合わせると、緊張したその様子もほぐれて笑顔がこぼれた。



姿勢よく聴けています

新クラスでの朝の会、大掃除を終え、新学期スタートの合図となる始業式の時が迫り、それぞれのクラスが体育館へ向かった。席に着き、これからの日々のこととを考え緊張しているのか、表情が固い児童もいた

入学式

四月十日(火)、星野学園小学校十二期生となる新入生六十六名が入学した。星野記念講堂(ハーモニーホール)には、小学四年生以上の在校生、中学生や高校生

も、新入生の入学を祝うべく集まり、星野学園の新しい仲間たちを歓迎した。少し大きな制服に身を包んだ、初々しい新入生は、中学生に優しく手を引かれ、講堂へとやってきた。

新入生の表情からは、緊張や不安な気持ちが見え隠れする反面、ドキ



入学式直前、緊張した表情。

ドキやワクワクといった希望が感じられる笑顔も溢れていた。

式典は厳粛な雰囲気の中、高校のウインドオーケストラ部による荘厳な演奏に合わせて始まった。中高生はもちろん、新入生の入学を心待ちにしていた四年生から六年生の在校生も、新入生のお手本となるに相応しい、堂々とした姿で参列した。その様子からは、新入生にとって一番近いお兄さんやお姉さんとしての、頼もしさが感じられた。

音楽部員と一緒に歌う校歌を聴いた、六十六名の新入生は、これから始まる星野学園小学校での六年間の学校生活がより一層楽しみに

第一回

星小の教科指導

体育

式典を終えた六十六名の新入生は、新しい教室で、新しいお友達や新しい先生と共に学級開きをし、星野学園小学校での生活をスタートさせた。校舎全体が、入学してきた新しい仲間を祝う装飾で彩られ、机には初めて手にする教科書、新二年生からの手紙が置かれ、歓迎を受けた。

新入生六十六名が、入学の喜びと、これから始まる星野学園小学校での学校生活への期待を胸に、小学生への第一歩を踏み出し、歩み始めた。成長が楽しみだ。(猪野)

音楽部員と一緒に歌う校歌を聴いた、六十六名の新入生は、これから始まる星野学園小学校での六年間の学校生活がより一層楽しみに

「運動を通した三つの経験」。これが、本校の体育のテーマである。一つ目の経験は、「楽しさを味わう」というものだ。楽しい授業をするが、その時に「楽しかった。」だけに終わらないのが本校の体育である。基礎・基本の定着や体力作りにも重きを置いて、生涯にわたって運動に親しむ身体能力を育てる。結果、運動が好きと言う児童がたくさ

ば、ほとんどの児童が、星野ドームや遊具場、ロックスクライミング広場等へ遊びに行く。運動をしたいという気持ちでいっぱいになり、仲間への感謝を胸に、これからも体育に取

新しいお友達や先生と小学校生活スタート! 運動をしたいという気持ちでいっぱいになり、仲間への感謝を胸に、これからも体育に取



星野ドームで行う体育の授業

(森田)

対面式

四月十一日(水)、全校児童が一堂に会し、対面式が行われた。

在校生は、大きな拍手で温かく新入生を迎え、その小さくも立派な足取りに、思わず笑みをこぼした。まるで弟や妹を見つめるかのような優しいまなざしで、一年生の様子を気にする姿も見られた。一年生は十日(火)に入学式を迎えたばかりで、まだ表情が硬く、在校生の視線に圧倒されているようだった。



そこで披露されたのが、在校生による学園歌斉唱である。歓迎にふさわしい、明るくきれいな歌声が星野ドームに響き渡った。その歌声に、一年生はいささか緊張がほぐれたのではないだろうか。

また、校長先生のお話を受け、在校生は話を引き締め、一年生の不安は期待へと変わったことだろう。新入生お礼の言葉にも、これからの学校生活への胸の高鳴りが表れていた。

児童にも伝わった。星野学園石原キャンパスには現在十一のAEDが設置されており、毎年春には教員の講習会を行っているが、在校生が講習を受けるのはこれが初めての事だ。そして、待ちに待った学校給食も始まった。初めての給食という事で、事務の先生や東洋食品の方がお手伝いに来てくださった。初めてのメニューはカレーだ。

AED講習

「目の前で人が倒れていたら、あなたならどうしますか。」
一月十五日(月)、五年生は、埼玉医科大学総合医療センターの七名のスタッフがと意見を交わした。昨年度から始まった五・六年生対象のAED講習会の一幕である。子どもでも人の命を救えるというのを知ってほしいという、同センター医師浅野祥孝氏率いる救急科スタッフの熱い思いが、

児童にも伝わった。星野学園石原キャンパスには現在十一のAEDが設置されており、毎年春には教員の講習会を行っているが、在校生が講習を受けるのはこれが初めての事だ。そして、待ちに待った学校給食も始まった。初めての給食という事で、事務の先生や東洋食品の方がお手伝いに来てくださった。初めてのメニューはカレーだ。



真剣に意見を交わす5年生



全教職員が救命救急講習を受講

一年生 成長中

一年生が入学して、約一ヶ月がたった。オリエンテーションの期間を経て、子どもたちは徐々に学校生活に慣れ始めてきた。オリエンテーションでは、話の聴き方や姿勢、挨拶など、小学校生活で大切なことを一つひとつ学んだ。そして、待ちに待った学校給食も始まった。初めての給食という事で、事務の先生や東洋食品の方がお手伝いに来てくださった。初めてのメニューはカレーだ。

なるべく、苦手なものも食べられるように少しずつ挑戦している。給食を作ってくれた東洋食品の方に会うと、「ごちそうさまでした!」「美味しかったです!」という感謝の言葉も伝えられるようになった。また、初めての国語や算数の授業も始まった。国語の授業では、教員作成のプリントを用いながらひらがなを一文一文字丁寧に書く練習をしている。子どもたちは姿勢を正しながら、一生懸命丁寧に書いていた。算数では、一から十の数についての勉強が始まった。声を出して数えてみたり、工夫をしながら数えてみたり、とても楽しそうに授業を受けている。一年生の今後の成長が楽しみである。(吉野)

星野の安全対策

本校の安全対策として、ICカードによる登下校確認、保護者への一斉メール、警備員の常駐、校内各所に設置されている防犯カメラ、全児童防犯ブザーの所持などがある。それ以外にも、避難訓練や、安全対策講話がある。

四月十三日(金)、昨年に引き続き、埼玉県警察署の職員による、「防犯教室」が開かれた。低学年は、「自分の身は自分で守る」をテーマに、不審者に出会うことを想定した、シミュレーションを交えた講習が行われた。両腕の前に出してぶつからない程度の距離が安全圏であるということとを教わった。実際に体を動かしながら学ぶことで、危険な状況に陥った際の対処の仕方が、より印象に残ったことだろう。



体験しながら学びました

さらに、四月十日(木)には、西武鉄道の職員を招き、日々児童が使用している、電車についての講習も受けた。降りる人が優先で、

四月十六日(月)には、NTTドコモの職員を招いた携帯電話の使い方に関する講習を受けた。低学年は携帯電話のルールやマナーに関する内容が、アニメーションやクイズを使って楽しく学ぶことのできた講習となった。学んだ後は、使う場所に気をつけようという児童の声が多く聞こえた。この講習を受け、学校でも今回学んだルールやマナーについて、さらに指導を強化していきたい。



不審者が話しかけてきたら...実演中